

令和5年度 弘前大学共同研究支援実施要項

1. 目的

女性研究者による共同研究を支援することにより、女性研究者の研究力・リーダー力・マネジメント力の向上と、地域における研究活動の活性化を図るとともに当該分野の深化に寄与することを目的とする。

2. 応募要件

以下の条件を満たし、上記の趣旨に合致すること。

- 1) 弘前大学の女性研究者（准教授，講師，助教，助手）が研究代表者（申請者）であり，かつ，弘前大学以外の機関に所属する研究者が共同研究者として1人以上参画する共同研究であること。
- 2) 1人の研究代表者が複数の共同研究の研究代表者を兼ねることはできない。
- 3) 研究代表者が他の研究の共同研究者になることを妨げない。
- 4) 共同研究者の職位は問わない。また，ポスドク研究員等を含めることができる。
- 5) これまでに本支援を受けたことのある申請者については，採択回数が通算3回以下であること。
- 6) 他の外部資金を得て現在実施中の共同研究等と重複して応募することはできない。
- 7) 研究分野は問わない。

3. 支援期間

採択決定後（令和5年6月初旬予定）～令和6年3月31日

4. 支援額・件数

- 1) 共同研究1件あたり上限20万円とし，研究経費は研究代表者に配分される。
- 2) 採択は1～2件程度を予定している。

5. 募集期間

令和5年4月1日～5月12日

6. 支援対象経費

設備備品費（10万円以上50万円未満の購入経費），消耗品費（前記の「設備備品」以外の物品の購入経費），旅費（当該研究成果の発表に係る学会参加，当該研究に係る打合せ等），その他必要な経費（諸謝金，通信運搬費，借損料，雑役務費）

7. 提出書類

研究代表者は弘前大学共同研究支援申請書を専任担当部局長に提出する。部局長は提出された申請書を取りまとめの上，男女共同参画推進室長宛に電子媒体で提出する。

8. 審査及び決定

本支援事業の審査委員会を設置し，本支援の趣旨適合性や発展性等の観点から採否を決定する。また，研究経費の査定も行う。北東北ダイバーシティ研究環境推進コミッティ（注1）や地域ネットワーク（注2），秋田大学に所属する共同研究者との共

同研究を優先的に評価する。

(注1) 岩手大学, 八戸工業高等専門学校, 一関工業高等専門学校, 農研機構東北農業研究センター, 株式会社ミクニ

(注2) 「あおりダイバーシティ研究環境推進ネットワーク」または「いわて女性研究者支援ネットワーク」に参加する次の機関

「あおりダイバーシティ研究環境推進ネットワーク」

弘前学院大学, 柴田学園大学, 柴田学園短期大学部, 青森公立大学, 青森中央学院大学, 青森中央短期大学, 八戸工業高等専門学校, 八戸工業大学, 八戸学院大学, 八戸学院大学短期大学部, 北里大学獣医学部, (地独) 青森県産業技術センター, 弘果総合研究開発株式会社, 東北化学薬品株式会社, 株式会社ラグノオささき

「いわて女性研究者支援ネットワーク」

岩手県立大学 (盛岡短期大学部・宮古短期大学部を含む), 岩手医科大学, 岩手県環境保健研究センター, 岩手県農業研究センター, (地独) 岩手県工業技術センター, (公財) 岩手生物工学研究センター, 岩手県食肉衛生検査所, 岩手県水産技術センター, 株式会社大東環境科学, 東京エレクトロン東北株式会社, (一社) 岩手県薬剤師会検査センター, (公財) 岩手県予防医学協会, 株式会社吉田測量設計

9. その他

- 1) 審査委員会から, 共同研究の申請内容について修正・変更を求めることがある。
- 2) 異分野の審査委員が理解できる分かりやすい申請書作成に努めること。
- 3) 共同研究者とのマッチングや申請書の書き方について支援を希望する場合は, 下記 10 の連絡先に連絡すること。
- 4) 本事業においてはこれまで文系分野の申請が少ないことから, 文系分野の積極的な応募を歓迎する。
- 5) 研究代表者は, 令和6年5月13日までに専任担当部局長を通じて実施報告書(別添様式)を男女共同参画推進室長宛に電子媒体で提出すること。
- 6) 採択された申請については, 男女共同参画推進室の発行物等に掲載することがある。
- 7) 申請した内容に変更があった場合は, 下記 10 の連絡先に連絡すること。申請内容に虚偽があった場合は返還を求めることがある。

10. 連絡先(提出先・問い合わせ先)

男女共同参画推進室 内線 3888 equality@hirosaki-u.ac.jp